

「スポーツ吹矢」 始めませんか。

会 員 募 集 中 !

<http://www.fukiya.net>



**健康と生きがいづくりに、
人と出会い、仲間と集う。**

スポーツ吹矢を通して、社会参加をサポートします。

スポーツ吹矢は、障がいをお持ちの方も、無理なくできるスポーツです。今まで「スポーツ」に縁のなかった方々が、スポーツ吹矢に出会い、生きがいと目標を見出し元気に社会参加されています。

また高齢者になっても、スポーツ吹矢を通して、いつまでも元気で明るくいいきと過ごされています。

**障がいに応じて、
補助・固定用具で工夫**



筒矢的



スポーツ吹矢は誰でもできるスポーツです!

高齢者

「95歳を超え、脊椎管狭窄症で腰が曲がって前かがみの姿勢になり、まっすぐに立ったり歩行が困難になりました。もう吹矢はできないかとあきらめかけていましたが、椅子に座って吹けました。昇級試験も受け、目標ができて励みになっています」(Tさん/長野県)
「家に閉じこもりがちだった生活が一変し、世間が広がった。楽しい」(Kさん/埼玉県)



片麻痺

「主人が脳出血で半身麻痺になって、生活やリハビリに積極性がなくなりました。そんな時にスポーツ吹矢のを知り、薦めてみました。それからは、前向きにリハビリにも積極的に取り組むようになり、その効果にびっくり。主人を送迎するついでに、楽しさに惹かれて、自分も始めるようになりました」(Iさんの奥様/神奈川県)



視・聴覚障がい

「カスタネットの音でのまで誘導して距離を確認したり、的に点字を施し、事前に点数の枠を指で確認しながら、指導しました」(神奈川県・千葉県公認指導員)
「聴覚障がい者への指導は、手話通訳による説明に加え、ティッシュペーパーを使い、口に吸い付く様子で吸ったり吐いたり息使いを見て呼吸法を学んでもらいました」(障がい者サポート部)



脳性麻痺

「脳性麻痺のため、両手足が不自由な自分にできるスポーツはないと思っていたが、筒を置く補助用具を作り、口でくわえ、右足の親指と人差し指で、筒を支えればできるようになった。支部の練習や昇級試験、大会など、新鮮な体験で充実した毎日をご過ごしています」(Yさん/長野県)



全国障がい者 スポーツ吹矢 競技会開催!

年に1回、障がい者対象の競技会が開かれます。



支部設立・ 指導者も 続々!

杉並身障協吹矢支部
(東京都杉並区)



行政機関や地域福祉施設、リハビリテーション施設でも導入

社会福祉協議会

墨田区社会福祉協議会からの依頼で平成18年からスポーツ吹矢の練習が始まりました。手足の不自由な人、目や耳の不自由な人など、週1回、サークル活動を行っています。また障がい者競技会へも積極的に参加しています。



すみだ福祉保健センター

地域ケアプラザ

横浜市では、地域福祉の拠点として地域ケアプラザが設置されています。地域活動交流や介護予防普及啓発として、スポーツ吹矢の講座や教室等が開かれています。



野庭ケアプラザ



パーキンソン病友の会 神奈川県支部の体験プログラム/洋光台ケアプラザ

知的・精神障がい者施設

15歳以上の知的障がい児が通所する「いちよう学級」(東京都港区)では、学習、スポーツ、レクリエーションなどを通じて、社会参加への適応力を高め、仲間作りの場の一環である交流活動の一つとして、スポーツ吹矢が取り入れられています。精神障がい者地域生活支援センター「宮代ふれんだむ」(埼玉県)では、就労支援のための様々なプログラムのなかで、スポーツ吹矢を活用しています。



いちよう学級



宮代ふれんだむ

リハビリテーション施設

● 福島県八子病院では、併設のリハビリテーション施設「YAGOメディカルフィットネスクラブ」のプログラムに取り入れ、**スポーツ吹矢式呼吸法**による肺機能の改善に効果が現れております。

● かわしま神経内科クリニック(神奈川県藤沢市)では、クリニックに併設されたデイセンターで、パーキンソン病患者者にリハビリの一つとして、スポーツ吹矢を導入し、患者サークル「**鎗矢の会**」として活動しています。発声、会話、嚥下など呼吸機能アップによる肺炎の防止や、姿勢が改善する、またゲームとして楽しむことで気分も改善すると喜ばれています。



かわしま神経内科クリニック

入会方法は…

- 1 入会金は無料です。
- 2 障がい者会員は1,500円で、さらに家族会員制度を適用すると1,000円になります。

※障がい者会員の適用には、障がい者手帳ほか公的手帳のコピーの提出が必要です。



聖路加国際病院・理事長で、本協会の最高顧問の日野原重明先生(左)と固く握手を交わす青柳清会長(右)

障がい者サポート部(平成18年設立)

指導者の育成と研修をはじめ、障がいをお持ちの会員が在籍する支部の活動支援や各地での体験会のサポートなど、情報交換・共有を図るべく連絡協議会を設置しています。

高齢者が要介護にならないための介護予防運動として、スポーツ吹矢を通して地域行政と連動し、社会参加の基盤作りを積極的に支援しています。



荒井 和子(理事・障がい者サポート部長)

皆さん、スポーツ吹矢をご存じですか?スポーツ吹矢を体験してみたい、継続して練習したい、と言う声を大切に当協会は喜んで応援指導します。

とにかくスポーツ吹矢は楽しい競技です。さまざまな障がい者スポーツがありますが、協会主催の大会は、どんな障害があっても、分けへだてすることなく一般会員とフェアに競技を行っています。スポー

ツ吹矢には、段位・級位があり練習に目標ができ、結果として元気に大会(社会参加)に出場してみよう、ということにつながってきています。また社会参加まではいなくても、日々のリハビリテーションとして、多くの仲間と集い楽しむこともできます。

当協会の夢は、スポーツ吹矢を障がい者スポーツの国体競技にすることです。

さあ、皆さん、私たちと一緒にスポーツ吹矢を元気に楽しく始めてみましょう。

行政、及び各種団体との取り組み実績一覧 ※順不同

●日本糖尿病学会 ●全国脊髄損傷連合会東北ブロック・関東甲信越ブロック(宮城県) ●宮城県身体障害者福祉協会 ●仙台市身障者福祉協会(群馬県) ●群馬県障害者スポーツ指導者協議会 ●伊勢崎ふくしプラザ(茨城県) ●日立市体育協会(埼玉県) ●埼玉県障害者交流センター ●川越市社会福祉協議会 ●草加市保健センター(千葉県) ●柏市ボランティアセンター ●柏市聴覚障害者協会 ●我孫子市障害者福祉センター ●松戸市東部地区在宅介護センター ●千葉市障害者福祉センター(東京都) ●東京都多摩市障害者福祉協会 ●千代田区ほほえみプラザ ●港区障害者福祉センター ●すみだ福祉保健センター ●東京都障害者総合スポーツセンター ●東京都多摩障害者スポーツセンター ●杉並区身体障害者協会(神奈川県) ●神奈川県障害者社会参加推進センター ●神奈川県障害者スポーツ指導者協議会 ●横浜市身体障害者団体連合会 ●横須賀市社会福祉協議会 ●横須賀市パーキンソン病友の会 ●相模原市社会福祉事業団(新潟県) ●柏崎市、羽羽村(山梨県) ●甲府市体育協会(長野県) ●諏訪地域障害者自立支援センター(三重県) ●三重県身体障害者総合福祉センター(滋賀県) ●滋賀県立障害者福祉センター ●大津市におの浜障害者福祉センター(兵庫県) ●伊丹市障害者福祉センター(鳥取県) ●八頭町社会福祉協議会 ●東部心身障害者育成会(広島県) ●尾道市社会福祉協議会 ●尾道市身体障害者福祉協会(香川県) ●かがわ総合リハビリセンター(宮崎県) ●宮崎県福祉協議会 ●日向市福祉協会 ほか

お近くでの見学や体験、または指導者派遣のお問い合わせは

社団法人 日本スポーツ吹矢協会

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9 共同ビル9F

TEL. 03-3543-1071 FAX. 03-3543-1072

<http://www.fukiya.net>



©fucat 2010
(社)日本スポーツ吹矢協会

地域支部名